

(ウ) 希望研修

a 概要

講座番号	研修講座名	実施日	目的・内容
77	学校組織マネジメント（基礎） 研修講座	8月9日（水）	<p>組織マネジメントの考え方と進め方について着眼点を示しながら、学校マネジメントのビジョンや運営の仕組み、管理職のリーダー行動、学校と外との関係等を解説します。また、演習では、SWOT分析をしながら学校の内外環境の分析と特色づくりについて協議します。</p> <p>講義・演習「学校組織マネジメント(1)(2)(3)」 兵庫教育大学 特任教授 浅野 良一</p>
78	学校組織マネジメント（発展） 研修講座	8月7日（月）	<p>学校ビジョンの役割と構成要素（めざす姿、力の入れどころ、行動規範等）について解説します。演習では、学校の戦略マップを各自作成し、意見交換しながらマネジメント力の向上を図ります。</p> <p>講義・演習「学校組織マネジメント(1)(2)(3)」 兵庫教育大学 特任教授 浅野 良一</p>
79	帰国・外国人児童生徒に対する 日本語指導研修講座	8月17日（木）	<p>日本語指導の在り方や今日的課題について、専門家による講義・演習を通して理解を深めます。また、実践発表・演習を通して、日本語指導の授業改善や教材作成に役立つ視点を養い、指導力の向上を図ります。</p> <p>講義・演習「帰国・外国人児童生徒への日本語指導—ことばの力を知り、育てる教育へ—」 筑波大学 准教授 澤田 浩子</p>
80	道徳教育研修講座	7月25日（火）	<p>道徳教育の今日的課題について、県内で道徳教育に積極的に取り組んでいる先生の実践発表を聞き、授業の工夫・改善のヒントを得ます。また、講義・演習を通して、道徳科の授業構想の視点について理解を深め、指導力の向上を図ります。</p> <p>講義・演習「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳科の授業構想」 文部科学省教科調査官 浅見 哲也</p>
81	特別活動研修講座	8月21日（月）	<p>今この時期だからこそ特別活動の意義が見直され、活動内容が注目されています。文部科学省の視学官から特別活動の最新の動向を伺うとともに、県内各地で積極的に特別活動に取り組んでいる先生の実践を共有し、演習を行うことで、特別活動の大切さやこれから大切になっていくことについて理解を深めます。</p> <p>講義・演習「一人一人が育ち、集団が育つ特別活動」 文部科学省視学官 安部 恭子</p>
82	高等学校等マネジメント研修講座	第1日 6月27日（火） ※ 計7日実施	<p>学校教育に関する法規、組織マネジメント及び人材育成に関する研修を行い、学校における諸問題への対応に資するとともに、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図ります。</p> <p>学校教育に関する法規演習、組織マネジメント、人材育成に関する講義・演習・研究協議等</p>
83	国語科における児童生徒の学び をデザインする研修講座	第1日 8月18日（金） 第2日 2月9日（金）	<p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点から、国語科学習指導における授業力の向上を目指します。実践事例の提示や演習等を通して、単元のまとまりを意識した授業デザインや指導と評価の一体化の具体について学び、確かな授業力の向上を図ります。</p> <p>講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた国語科の授業づくり」 大妻女子大学 教授 樺山 敏郎</p>

講座番号	研修講座名	実施日	目的・内容
84	市民性を育む！シティズンシップ教育研修講座	8月22日（火）	<p>成年年齢が18歳に引き下げられ、児童生徒の平和で民主的な国家及び社会の形成者としての自覚を涵養することが求められています。社会科、特別活動における市民性を育む授業力向上を図ります。</p> <p>講義・研究協議「系統性を踏まえたシティズンシップ教育」 筑波大学 教授 唐木 清志</p>
85	「データ」を活用・分析する力を育む算数・数学科授業力向上研修講座	7月25日（火）	<p>「データ」を活用・分析する授業についての講義、実践発表、研究協議を通して、授業づくりの視点について理解するとともに、授業力の向上を図ります。</p> <p>講義「『データ』を活用・分析する力を育む授業改善」 茨城大学 教授 小口 祐一</p>
86	小学校理科観察・実験研修講座	第1日 8月3日（木） 第2日 8月18日（金）	<p>小学校理科の基本的な観察・実験を通して、授業力の向上を図ります。講義・研究協議、観察・実験を行い、理科の楽しさを実感しませんか。</p> <p>第1日：研究発表会（理科）と合同開催（オンライン） 第2日：観察・実験・研究協議「基本的な観察・実験の工夫」（研修センター）</p>
87	未来を創るSTEAM教育研修講座	第1日 8月7日（月） 第2日 1月23日（火）	<p>多様な課題が生じている変化の大きい現代社会で必要とされる資質・能力を育む教育として、「STEAM教育」が注目されています。文系・理系の枠を超えたカリキュラムマネジメントにアートを位置付け、新たな価値を創造する力を育む授業づくりを目指します。共に新しい学びを創り出しましょう。</p> <p>講義・研究協議「新しい学びを創造するSTEAM教育」 茨城大学 准教授 小林 祐紀 講義・演習・研究協議「STEAM教育におけるアート」 武蔵野美術大学 教授 三澤 一実</p>
88	音楽科授業づくり研修講座	A班 7月28日（金） B班 8月22日（火）	<p>音楽の学習は、児童生徒が音や音楽の存在に気付き、それらを主体的に捉えることによって成立します。児童生徒の感性に働きかけ、主体的な活動に導くための方法を考えていきましょう。</p> <p>A班：講義・実技「児童の感性を働かせる授業の工夫改善」 筑波大学 非常勤講師 高倉 弘光 B班：講義・実技「生徒の感性を働かせる授業の工夫改善」 上野学園大学短期大学部 教授 内田 有一</p>
89	我が国の伝統音楽研修講座	A班 7月31日（月） B班 8月17日（木）	<p>近年、和楽器を含む我が国や郷土の音楽の学習の充実が求められています。本講座では我が国の伝統・文化に関する教育に対する認識を深め、和楽器の基本的な奏法を学びます。教室に和楽器の音を子どもたちと一緒に響かせませんか？（和楽器の経験については、初心者に限ります。）</p> <p>鑑賞「和楽器を用いた表現」実技「箏の奏法」 鑑賞「和楽器を用いた表現」実技「三味線の奏法」 東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部 講師 2名 鑑賞「和楽器を用いた表現」実技「和太鼓の奏法」 来舞・デュオ 過足 雅之、照沼 啓子</p>
90	児童生徒の思いを大切にする図画工作・美術科授業づくり研修講座	第1日 7月28日（金） 第2日 8月4日（金）	<p>第1日は、茨城県近代美術館で所外研修です。展示作品を使った鑑賞の演習を行います。第2日は、教科に関する研究（図工・美術）発表会と合同開催です。「学びに向かう力、人間性等を涵養する学習指導」についての実践発表を聞くとともに、作品づくりや鑑賞の演習を行います。</p> <p>講義・研究協議「児童生徒の思いを大切にする図画工作・美術科の授業づくり」 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 小林 恭代</p>

講座番号	研修講座名	実施日	目的・内容
91	ヒントが見つかり授業が変わる！体育・保健体育科授業づくり研修講座	7月7日(金)	<p>体育や保健体育のエキスパートである白旗和也先生の講義をヒントに、学習指導要領の主旨をふまえ、受講者同士のアイデアを結集した授業づくりを通して、明日からの体育・保健体育の授業を変えていきましょう。</p> <p>講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた体育授業」 日本体育大学 教授 白旗 和也</p>
92	できるをいっぱい！家庭科授業づくり研修講座	8月22日(火)	<p>子供たちの「できるがいっぱい！」を実現する、家庭科授業づくりについて一緒に考えてみませんか。午後は校種別の部会に分かれて、実践発表や演習などを通して授業力の向上を図ります。</p> <p>講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた家庭科の授業改善」 茨城大学 教授 佐藤 裕紀子</p>
93	みんなで創ろう「Technology」の授業研修講座	8月17日(木)	<p>技術・家庭科(技術分野)の現状と課題について、講義・演習などを通して学び、これからの未来を創る「Technology」の授業について考えてみませんか。</p> <p>講義・演習「技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題」 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 渡邊 茂一</p>
94	体験と参画を通して小学校外国語の授業スキルを身に付ける研修講座	7月27日(木)	<p>小学校の外国語活動・外国語科に関して、体験活動と参画活動のある実践的な研修を通して、授業スキルを身に付けます。</p> <p>講義・演習「学習指導要領を踏まえた小学校の授業づくり」 文部科学省初等中等教育局視学官 直山 木綿子</p>
95	思考力・判断力・表現力を高める指導力向上研修講座	各教科で異なりますので、詳細は実施要項をご覧ください。	<p>主体的・対話的で深い学びや学びと評価の一体化の視点から、評価問題の作成をはじめとする思考力・判断力・表現力を高める実践的な指導力向上を図ります。</p> <p>各教科で大学等の講師を招き、理論と実践について研修します。</p> <p>国語：専修大学 山下 直 地歴公民：産業能率大学 皆川 雅樹 玉川大学 樋口 雅夫 筑波大学 唐木 清志 算数数学：島根県立大学 齊藤 一弥 東京学芸大学 藤井 斉亮 岩手大学 佐藤 寿仁 横浜国立大学 池田 敏和 国立教育政策研究所 小林 廉 東京学芸大学 西村 圭一 理科：國學院大學 寺本 貴啓 外国語(英語)：大阪教育大学 小林 翔</p>
96	持続可能な社会を創る！SDG s 研修講座	第1日 A班 7月31日(月) B班 8月1日(火) 第2日 A班、B班 11月1日(水)	<p>持続可能な開発目標(SDG s)を達成するために、持続可能な社会の創り手を育む教育(ESD)が注目されています。JICA筑波での研修や海外とのオンライン交流を通して、「think globally, act locally」の視点を生かした学びについて考え、それぞれの学校でESDの実践をして共有します。</p> <p>講義・研究協議「SDG s 達成に向けたグローバルな視点からの取組の実際」 JICA筑波職員 講義・研究協議「学校と地域が連携したSDG s 達成に向けた教育の在り方」 東京都市大学大学院 教授 佐藤 真久 演習「オンラインスタディ・ツアー体験」 認定NPO法人CFFジャパンスタッフ</p>

講座番号	研修講座名	実施日	目的・内容
97	体験する夏の環境教育研修講座	8月23日(水)	<p>河川の上・中・下流域の様相の違いや生息する生物等の観察を通して、体験的に環境教育について考えます。フィールドワークをしながら環境教育について研修してみませんか。</p> <p>実習「河川観察等を通じた体験型環境教育」 茨城県霞ヶ浦環境科学センター職員</p>
98	日常を探究にする研修講座	8月24日(木)	<p>児童生徒が日常の中に探究テーマとの出会いやヒントとなるきっかけを見出し、探究的な学びを実現する授業デザインを行います。</p> <p>講義・研究協議「児童生徒の日常を探究にする」 認定特定非営利活動法人カタリバ 横山 和毅</p>
99	学校図書館を活用した授業づくり研修講座	8月23日(水)	<p>学校図書館を活用した教育活動に関する実践的な内容・方法等について理解を深め、授業力の向上を図ることを目的としています。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、公共図書館との連携の在り方や、学校図書館を活用した授業づくりの実際について考えてみませんか。</p> <p>講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学校図書館の在り方」 放送大学 客員教授 堀川 照代</p>
100	体験する商業教育研修講座	10月27日(金)	<p>社会で生きる私たちは、全員が生活者であり消費者です。「商業」の魅力・役割とは、一人一人が社会の担い手としてより良い行動を選択し、豊かで持続可能な生活と社会を実現することです。新たに開設する本講座では、「商業」の学びに生かすための広い知見を得ることを目的として、スーパーマーケット「カスミ」本社および中央流通センターで、マーケティングと流通の実際について学びます。企業の内側から学ぶことのできるまたとない機会です。この機会にぜひ、生活に身近なスーパーマーケットのしくみと、「商業」の魅力に触れてみませんか。</p> <p>※ 本講座は、全ての校種、全ての教科の教員が受講を希望できます。</p> <p>講義・実習「スーパーマーケットにおける販売戦略について」(所外研修) 株式会社カスミ 店舗開発・サービス本部 ロジスティック部 システム担当 安藤 元一</p> <p>講義・実習「スーパーマーケットにおける物流システムの実際」(所外研修) 株式会社カスミ ロジスティック本部 物流部 物流課長 赤津 茂美</p>
101	はじめてのICTを活用した授業づくり研修講座	<p>A班 7月28日(金)</p> <p>B班 7月31日(月)</p> <p>C班 8月1日(火)</p>	<p>令和の日本型学校教育の実現に向けて、授業におけるICT活用が必要不可欠なものとなっている中、授業でICTを活用すること、機器操作自体に不安を感じる方も多いのではないのでしょうか。本講座は、授業でのICT活用・ICT機器操作に不安を感じている初心者の方の教員が対象です。教科・科目の目標を授業の主軸におきながら、「文房具としてのICT活用」を合言葉に、誰でも手軽に授業でICTを活用できるヒントを得ることができます。ぜひ私たちと一緒に、授業でのICT活用の一歩を踏み出しましょう。</p> <p>※ 班ごとに演習に使用する授業支援ソフトウェアが異なります。下記から選択し、お申し込みください。</p> <p>A班:「Google Workspace for Education」又は「SKYMENU Class」から選択 B班:「SKYMENU Class」又は「ロイロノート・スクール」から選択 C班:「Google Workspace for Education」又は「ロイロノート・スクール」から選択</p>

講座番号	研修講座名	実施日	目的・内容
102	新しい教育課題に対応するための教育の情報化研修講座	8月18日(金)	<p>今年度取り上げる教育課題は、「デジタル教科書をどのように活用し、授業づくりを行えばよいか」です。GIGAスクール構想により一人1台端末が実現している現在において、デジタル教科書の活用法に注目が集まっています。本講座では、そのような中、いかにデジタル教科書を活用し、児童生徒の資質・能力を育てていくのか、デジタル教科書を学びのツールとして活用した授業づくりについて学んでいきます。</p> <p>講義「デジタル教科書を活用した授業づくり」 放送大学 客員教授 佐藤 幸江</p>
103	学校教育の情報化推進リーダー研修講座	第1日 7月25日(火) 第2日 8月21日(月)	<p>GIGAスクール構想の実現に向けて、一人1台端末の整備が進められました。これからは、学校教育の情報化をどのように推進していくのか、そのリーダーが求められると考えます。本講座では、教育の情報化について、学識経験者の講義を基に、演習・研究協議を通して学び、学校教育の情報化推進リーダーとしての資質・能力の向上を図ります。</p> <p>講義・演習「デジタル・シティズンシップ教育の進め方と実際」 鳥取県デジタル・シティズンシップエデュケーター 今度 珠美</p> <p>講義・演習「情報活用能力の育成と教科指導におけるICT活用」 茨城大学 准教授 小林 祐紀</p> <p>講義・演習「学校教育の情報化推進のためのICT戦略づくりに向けて」 株式会社情報通信総合研究所 ICTリサーチ・コンサルティング部 特別研究員 平井 聡一郎</p>
104	小学校段階におけるプログラミング教育研修講座	A班 8月8日(火) B班 8月9日(水)	<p>順次・分岐・反復などのプログラミング的思考を身に付けるための学習活動について理解を深めるとともに、ロボットなどのリアルなものを動かすプログラミングを行うなど、小学校段階におけるプログラミング教育に関する知識と技術を習得し、指導力の向上を図ります。</p> <p>※ 本講座は、受講者の希望により、基礎・基本からプログラミングを学ぶことのできるコースと、小・中・高を見通したプログラミング教育を考える発展的な内容を扱うコースから選択してお申し込みいただけます。</p> <p>また、本年度から小・中・高のつながりを意識して、中学校の技術・家庭科〔技術分野〕、高等学校の情報を担当する教員も受講可能となりました。ぜひ、小学校段階でどのようなプログラミング教育に取り組んでいるかを理解し、小・中・高の連携を図っていきましょう。</p> <p>A班：基礎・基本コース B班：発展コース（中学校の技術・家庭科〔技術分野〕、高等学校の情報担当教員も受講可）</p>
105	不登校対応研修講座	8月18日(金)	<p>不登校等の教育問題について実践的に取り組んでいる大学教授の講義・演習を通して、不登校児童生徒の理解と支援について考えを深めます。また、研究協議を通して、より具体的な支援方法について考えを交流し、対応力を高めます。</p> <p>講義・演習「不登校児童生徒の理解と支援」 茨城大学 准教授 金丸 隆太</p>
106	思春期の子どもと保護者に寄り添う教師のためのソーシャルスキル研修講座	7月25日(火)	<p>自殺予防に関する研究で知られる医師を迎え、思春期の児童生徒の特徴と適切な関わり方について理解を深めます。また、演習を通して、教師が児童生徒や保護者と信頼関係を構築するためのソーシャルスキルを身に付けます。</p> <p>講義・演習「思春期の子どもとの心と向き合う」 筑波大学 医学医療系教授 太刀川 弘和</p>

講座番号	研修講座名	実施日	目的・内容
107	教育相談（初級）研修講座	第1日 A班：8月1日（火） B班：8月8日（火） 第2日 A班：10月25日（水） B班：11月15日（水）	全日程を受講した方が受講修了となります。講義・演習を通して、教育相談における基礎を学びます。また、実際の個別面接を想定したロールプレイを行い録音し研究協議を行うなど、信頼関係を築く態度や話を聴く技法の習得を目指します。A班かB班のいずれかを申込み時に選択します。 第1日：講義・演習「教育相談の基礎」 筑波大学 教授 杉江 征
108	教育相談（中級）研修講座	第1日 8月21日（月） 第2日 1月12日（金）	教育相談（初級）研修講座を修了している方を対象とした講座で、全日程を受講した方が受講修了となります。児童生徒や保護者が抱える問題を明らかにする技法や関わりについて講義・演習・研究協議を通して、理解を深めます。児童生徒や保護者の許可を取り、個別面接を録音し、逐語記録を作成する課題があります。 第2日：講義・演習「教育相談におけるアセスメント」 立正大学 教授 鹿嶋 真弓
109	教育相談（上級）研修講座	第1日 6月21日（水） 第2日 10月13日（金） 第3日 1月16日（火）	教育相談（中級）研修講座を修了している方を対象とした講座で、全日程を受講した方が受講修了となります。講義・演習・研究協議を通して、問題を解決に導く技法や関わりについて理解し、教育相談に関する資質・能力の向上を図ります。児童生徒や保護者の許可を取り、個別面接を録音し、逐語記録を作成する課題があります。 第1日：講義・演習「教育相談の理論と実践」 茨城大学 教授 正保 春彦 第2日：講義・演習「教育相談の応用」 茨城大学 教授 生越 達
110	問題行動等を未然防止！育てる教育相談研修講座	7月6日（木）	育てる教育相談の理論と方法について、大学教授の講義・演習とグループアプローチの講義・演習を通して理解を深めます。事前に動画を視聴してから受講してください。グループアプローチは構成的グループエンカウンターかクラス会議のいずれかを申し込み時に選択します。 講義・演習「授業に生かす教育相談」 文教大学 教授 会沢 信彦
111	自立活動指導力向上研修講座	第1日 7月28日（金） 第2日 12月12日（火）	第1日は、講義・演習、実践発表、プロセスシートの作成を通して、自立活動の指導についての基本を学びます。第1日終了後、各学校において自立活動の指導を行う課題があります。第2日は、講義・演習、研究協議を通して自立活動の指導の実際について理解を深めた後、授業づくりについての研究協議を行います。2日間の研修と学校での自立活動の指導の実践を通して、自立活動の指導力向上を目指します。 第1日：講義・演習「学びを支える自立活動の指導の在り方」 江東区立豊洲北小学校 統括校長 喜多 好一
112	読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座	10月24日（火）	読み書き困難の背景は様々で、一人一人に対する支援方法を考えることが大切です。この講座では、読み書き困難のある児童生徒の認知的背景や支援の在り方等について、研修を行います。実践発表を聞いたり演習を行ったりして、読み書き困難のある児童生徒への具体的な指導方法を学び、今後の指導に生かせるようにしていきます。 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 筑波大学 助教授 三盃 亜美
113	通常の学級における特別支援教育研修講座	8月9日（水）	この講座では、通常の学級における特別支援教育の視点を踏まえた授業づくり、学級経営、児童生徒への支援の在り方等を学びます。午後は、通常の学級担任による学級経営の実践発表を聞いたり、事例の児童生徒への支援方法を考えて話し合ったりすることを通して、特別支援教育の知識を深めていきます。 講義・演習「特別支援教育の視点を踏まえた授業づくり」 明星大学 准教授 森下 由規子

講座 番号	研修講座名	実施日	目的・内容
114	特別支援教育の専門性を高めるための研修講座	第1日 12月5日(火) 第2日 1月30日(火)	<p>学校や地域における特別支援教育の専門性を高めるための講座です。第1日は、愛着障害などについての講義・演習を通して、特別支援教育の方向性と課題について学びます。また、特別支援教育の専門性を地域や学校に生かすにはどうしたらよいかなどについて講義・研究協議を通して考えます。第2日は、応用行動分析について研修します。そして、応用行動分析に基づいた児童生徒の問題行動へのアプローチの仕方について実践発表・研究協議を通して学びます。</p> <p>第1日：講義・演習「特別支援教育の方向性と課題」 学識経験者 宮本 信也</p> <p>第2日：講義・演習「応用行動分析学とは」 新潟大学大学院 教授 長澤 正樹</p>